



コミュニティソーシャルワーカー

C S W 通信

8 月号

豊島区民協キャラクター ふくじい

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは・・・

福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して、解決に向けたお手伝いをしています。

CSWは、8か所の区民ひろばに常駐しています。（豊島区から受託）



本が生み出す地域のつながり 「RE:RE:BOOK」



「地域でぐるっとめぐる本のポスト」として、東長崎にある小さな共同住宅の壱番館には RE:RE: BOOK という小さな箱型のブックポストが併設されています。読み終わった本をブックポストの中に置くと、次の読者が持っていき、読書の循環が生まれます。



置いてもらう本のジャンルはどんなものでもOK。（但し、劣化の激しい状態のものや、古くなった情報誌等をご遠慮ください。）また、壱番館のベンチで試し読みもできます。



RE:RE:BOOK 発案者の小木さん

壱番館は共同住宅ですが、地域をもっと面白くしたいというオーナーの思いと、それに共感した住民たちや

地域の方みんなで作り上げる、そんな素敵な空間だと感じます。都会の喧騒を離れた一隅。ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

RE:RE: BOOKS

所在地：豊島区長崎 4-27-8 壱番館

instagram: @higashinagasaki_ichibankan

OKARA で 100 円フリマ開催!

7/23(土)に「OKARA (おから)」のイベントに伺いました。

OKARA は、地域に開いたシェアハウスを目指して、当時大学生 2 人とパペット劇作家が中心となって 2017 年に始まったシェアハウスです。

当初は日中一階のリビングをまちに開放していて、近所の子どもたちが自由に壁に絵を描いたり、廃材を利用して「おから」の看板を書いたりしていたそうです。その他、季節ごとのイベントも開催していましたが、コロナ禍でそういった活動をストップせざるを得なくなりました。



長い間でできていなかった地域に向けた活動を今回再開しようと思ったのは、来年 6 月に建物の解体が決まったこともあると代表の木村さんに伺いました。今回のフリマの出品物は、ほとんどが「地域の方から譲り受けた物」とのこと。

開始時間の 13 時から続々と人が集まってきて、「いつもこの縁側で何か作品を作っているのを見るとわくわくするのよ」と OKARA のメンバーに話しかける方もいて、本当に地域に愛される場所なんだなあと改めて感じました。

これから二か月に一度くらいで皆さんにお越しいただけるイベントを開催する予定、とのことなので、ご興味のある方は、ぜひ行ってみてくださいね♪



OKARA

所在地: 豊島区长崎4-32-12

Instagram: @okara_official

無料 暮らしの何でも相談会 予約不要

8/4(木)

14:30~16:30

(幼児タイム)

@区民ひろば椎名町
(南長崎4-12-7)

8/9(火)

14:00~15:00

(いきいきタイム)

@区民ひろば長崎
(長崎2-27-18)

8/18(木)

14:00~15:00

(シン・フレイル)

@区民ひろばさくら第一
(南長崎6-20-15)

【発行】

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
CSW アトリエ村圏域担当 所・佐々木

(区民ひろば 富士見台内)

開所時間 月~金 9:00~17:00

(祝日・年末年始除く)

【連絡先】

TEL: 03-6843-2930

メールアドレス: csw_fujimidai@a.toshima.ne.jp

★SNS リンク先は右の QR コードから

